

OPI 研究会セミナー

中級 :Create with Language

三浦謙一

Franklin & Marshall College



ACTFL Proficiency Guidelines (2012)

プロフィシエンシーレベル	機能・総合的タスク	場面・内容	正確さ・理解難易度	テキストタイプ
超級	身近な話題不慣れな話題について話し、意見を弁護し、仮説を	ほとんどのインフォーマル、フォーマルな場面。／一般の関	基本文法に間違いのパターンがない。間違いがあっても、聞き	複段落
	打ち立てる	心事に関連した話題と特定の興味や知識に関する分野の話題とといった幅広い範囲	手は、メッセージから注意をそらされるなどコミュニケーションに支障をきたすことはない	
上級	主要時制枠において、ナレーションと描写ができ、不測の事態をはらんだ日常的な状況や取引に効果的に対応できる	ほとんどのインフォーマルな場面とフォーマルな場面の一部／個人に関連した、または一般的な話題	非母語話者に不慣れな話し相手でも問題なく理解してもらえる	口頭段落・つながりのある談話
中級	言語を使って自分の伝えたいことを作り出す、簡単な質問に答えたり、質問をすることができる、単純な場面や取引状況に対応できる	いくつかのインフォーマルな場面と限られた数の取引の場面／予測可能な、日常生活や個人の生活環境に関連した話題	非母語話者に慣れた話し相手に、時に繰り返したりすることはあるが、理解してもらえる	ばらばらの文・つながった文
初級	決まった語句や暗記した発話で、必要最少限のコミュニケーションができる。単語、語句、リストなどを産出する	もっとも頻繁に起こるインフォーマルな場面／日常生活のもっともありふれた内容	非母語話者に慣れた話し相手にも、しばしば理解するのが困難な場合がある	個々の単語、語句、リスト（列挙）

初級

- ❖ 覚えたものをそのまま発話
- ❖ もっとも身近な場面
- ❖ 単語、リスト、暗記した文



中級

- ❖ 習ったものを組み換えて「自分が言いたいこと」が言える（Create with Language）
- ❖ 日常生活で普通に起こりうる場面に対応できる（買い物、道を尋ねる、近所の人に挨拶する、等）
- ❖ 文レベル（覚えた文が産出できるだけでなく、自分が言いたいことを文を組み合わせて表現できる。）





「趣味は何ですか。」

「趣味？わかりません。」

「何をするのが好きですか。」

「はい、好きです。」

「スポーツが好きですか。」

「スポーツ。テニス。」

「テニスですか。いつしますか。」

「はい。」



「週末によく何をしますか。」

「宿題します。難しい。」

「それから？」

「母、電話、話します。」

「お母さんは、どこにいますか。」

「ニューヨーク。」



身近な場面

「Aさんのスケジュールを教えてください。」

「8時に起きます。シャワーを浴びます。歯を磨きます。9時にクラスに行きます。12時に食堂で昼ごはんを食べます。1時にクラスに行きます。うちに帰ります。6時に晩御飯を食べます。」

Create with Language??

中級

- ❖ 習ったものを組み換えて「自分が言いたいこと」が言える（Create with Language）
- ❖ 日常生活で普通に起こりうる場面に対応できる（買い物、道を尋ねる、近所の人に挨拶する、等）
- ❖ 文レベル（覚えた文が産出できるだけでなく、自分が言いたいことを文を組み合わせて表現できる。）





身近な場面

「Aさんのスケジュールを教えてください。」

「8時に起きます。シャワーを浴びます。歯を磨きます。9時にクラスに行きます。12時に食堂で昼ごはんを食べます。1時にクラスに行きます。うちに帰ります。6時に晩御飯を食べます。」

Create with Language??

中級レベル

習ったものを組み換えて「自分が言いたいこと」が
言えるかどうかを調べる必要がある。

「どこで食べますか。」

「週末何をしますか。」

「よく誰と話しますか。」

Closed questions（閉鎖型質問）

単語の置き換え、習った語句の産出で答える
ことが可能。



中級レベル

Open-ended questions（開放型質問）

「Aさんの大学はどんな大学ですか。」

「大学についてもっと話してください。」

「どうしてその大学を選んだか、いろいろ教えてください。」



中級レベル

Open-ended questions（開放型質問）

「Aさんの大学はどんな大学ですか。」

「大きい大学です。」

「そうですか。学生は何人ぐらいいますか。」

「2000人ぐらいです。」



中級レベル

開放型質問とフォローアップ

ウォームアップで得られた話題について話してもらう。フォローアップの際にはレベルを下げない。

「Aさんの出身の町についてもっといろいろ話してください。」

「アルバイトについて話してください。」



中級レベル

Open-ended questions（開放型質問）

「Aさんの大学はどんな大学ですか。」

「大きい大学です。」

「それから？」

「いろいろな専攻ができます。一番有名な専攻は、ビジネスです。」

「もっと話してください。」

「はい。」



中級レベル

Open-ended questions（開放型質問）

「Aさんの大学はどんな大学ですか。」

「大きい大学です。」

「そうですか。それから？」

「ええと、学生は、アメリカのいろいろなところから
来ます。私の友達は、アラスカから来ました。」

「...」

「あ、キャンパスは、町の中にあります。」



中級レベル

中級のレベルチェックが終わった後で上級のレベルチェックに移る。**(いきなり上級的话题を出すインタビューが非常に多い。)**

レベルチェックは**複数**。



上級

- ❖ 「ナレーション」「描写」によって内容を伝えられる。
- ❖ 「自分の身の回りの話題」に加え、「自分が属している社会の問題」について話すことができる。
- ❖ 「段落レベル」での発話
- ❖ 聞き手に配慮した発話



上級

- ❖ 中級のレベルチェックからトピックを出す。
- ❖ 前に話した話題に戻る。
- ❖ 的を絞って詳しく話させる。
- ❖ 例：「キャンパスの中で好きな場所は？私の頭にイメージできるように話してください。」
- ❖ 例：「富士山に登った時のことを始めから終わりまで話してください。」



中級

- ❖ 習ったものを組み換えて「自分が言いたいこと」が言える（Create with Language）
- ❖ 日常生活で普通に起こりうる場面に対応できる（買い物、道を尋ねる、近所の人に挨拶する、等）
- ❖ 文レベル（覚えた文が産出できるだけでなく、自分が言いたいことを文を組み合わせて表現できる。）

